

**戦略的創造研究推進事業
先端的カーボンニュートラル技術開発
(ALCA-Next)
提案書記載の際の留意事項**

2023年 6月



科学技術振興機構

様式 1-2

※本様式の書式設定、スタイル設定は、原則変更しないでください。カラーの図・文字は使用可能です。
※本文のフォントサイズは【10.5ポイント以上】を厳守してください。
※青字の記入要領は、このヘッダー部分も含めて提出時に削除してください。
※ファイル容量は 3MB 以内を目途に作成ください
2023 様式 ALCA-Next

研究開発提案の要旨

※加速フェーズを含めた研究開発提案の要旨を1ページ以内で記載ください。
※e-Rad 基本情報「研究概要」部分には、「研究開発提案書を参照」とご記入ください。

(様式 1-2)

e-Rad画面

加速フェーズを含めた研究開発提案の要旨を1ページ以内で記載ください。

基本情報 研究経費・研究組織 個別項目 応募・受入状況

基本情報

研究期間(白紙) 必須 最短期間: 1年 最長期間: 7年
(開始) 年度から(終了) 年度まで

研究分野(主) 研究の内容 必須

キーワード 必須

研究分野(副)を設定する

研究目的 1000文字以内 (改行、スペースも1文字でカウント)
研究開発提案書を参照

名称	形式	サイズ	ファイル名
研究目的ファイル	[PDF (PDF)]	10MB	<input type="text"/> <input type="button" value="参照"/> <input type="button" value="クリア"/> <input type="button" value="削除"/>

研究概要 1000文字以内 (改行、スペースも1文字でカウント)
研究開発提案書を参照

名称	形式	サイズ	ファイル名
研究概要ファイル	[PDF (PDF)]	10MB	<input type="text"/> <input type="button" value="参照"/> <input type="button" value="クリア"/> <input type="button" value="削除"/>

**e-Radに「研究開発提案書を参照」と記載が
必要です。ご注意ください。**

※e-Rad入力にあたっての注意：
e-Rad入力画面には、アップロードボタンがあります。「直接入力」と「pdfアップロード」のどちらもできるようなっていますが、「pdfアップロード」は使用しないでください。

様式2

※本様式の書式設定、スタイル設定は、原則変更しないでください。カラーの図・文字は使用可能です。

※本文のフォントサイズは【10.5ポイント以上】を厳守してください。

※青字の記入要領は、このヘッダー部分も含めて提出時に削除してください。

※ファイル容量は 3MB 以内を目途に作成ください

2023 様式 ALCA-Next

(様式 2)

研究開発課題の全体構想

※募集要項第 2 章「2.9 選考の観点」及び募集要項別紙・第 6 章「募集対象となる技術領域」もあわせて必ずご確認ください。

1. 本研究開発によって創出を目指す技術

※本研究開発によって創出を目指す技術がどのようなものか記載してください。(半ページ程度)

2. カーボンニュートラル貢献へのシナリオ

※当該技術が社会導入されることによりカーボンニュートラルにどのようにつながるかのシナリオを、科学的な根拠も示しながら記載してください。

当該技術がどのようにカーボンニュートラル貢献へつながるのか、科学的な根拠を示しながら記載してください。

3. 取り組むべき課題

※以下の点を記載ください。

- ・ 克服すべき課題
- ・ そのうち、本提案ではどのような技術的課題の解決に取り組むのか
- ・ 課題解決にあたってはどのようなブレークスルーが必要か
- ・ 全体構想を実現するにあたって考えられる技術的・社会的な障害やリスク

様式2

必要に応じて図表等を用いても構いません。

4. 本研究開発の目標

※研究開発で達成する目標を、設定の理由・根拠とともに具体的に記載ください。

(1) スモールフェーズ終了時点での達成目標

(2) 加速フェーズ終了時点の達成目標

5. 研究開発の優位性・独自性

※以下について、判断できるように記載ください。

- ・ 従来技術の延長ではない挑戦的な技術内容であり、科学技術の飛躍的な発展があること(社会・産業上のニーズを踏まえたハイインパクトな目標設定となっている根拠を示してください)。
- ・ 国内外の研究開発動向を踏まえ、提案が優位性・独自性を有すること。

6. 研究実施の基盤および準備状況

※本構想を推進する基盤となる、以下の点について具体的に記述してください。

- ・ 研究開発代表者自身(および必要に応じて、主たる共同研究者・研究参加者)のこれまでの研究と成果
- ・ その他の予備的な知見やデータ等(存在する場合)

様式2は「1. 本研究開発によって創出を目指す技術」～「6. 研究実施の基盤および準備状況」までの項目を、**図表含めて6ページ以内で作成**してください。

… 様式2は、ここまでで図表含め6ページを超えないこと …

様式3

2023 様式 ALCA-Next

(様式 3)

研究開発の体制及びスケジュール(7年間全体)

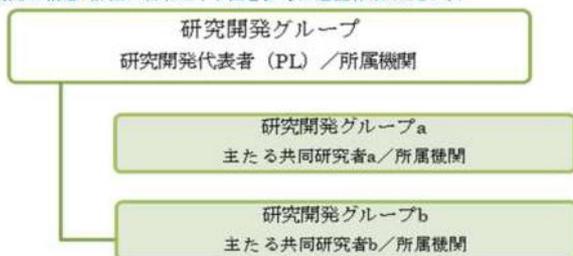
1. 研究の実施体制

(1) 研究開発体制の概略図

○スモールフェーズの体制案

※研究開発体制案を図示してください。その際、目標達成に向けて適切な役割分担がなされていることが分かるように留意して作成ください。

(提案する研究開発の構想・計画に合わせ、下図を参考に適宜作成ください。)



○加速フェーズの体制に関する構想

※加速フェーズの体制に関する構想を記載してください。図は不要です。

(2) 研究開発体制(スモールフェーズ開始時点)

※スモールフェーズ開始時に想定している体制を記載してください。

グループ名	研究開発代表者 または主たる共同 研究者の氏名	研究開発代表者または 主たる共同研究者の 所属機関・部署・役職名	研究開発題目(20字程度)
○○グループ ※○○(研究開発代 表者の姓)グループ	○○ ○○	○○大学大学院○○学系研究 科 教授	○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○の開 発 ※20字程度でグループの研究開発 題目を記述してください。この記載 は、様式4-2の「研究開発題目」に も用いてください。
△△グループ ※△△(主たる共同 研究者(1)の姓)グ ループ ※様式4-2以降の			

JSTから配賦された研究予算を執行し研究を実施する、すべての研究機関を記載してください。
研究の再委託はできません。 予算執行を行うすべての研究機関とJSTは委託研究契約を締結します。

20字程度でグループの研究開発題目を記述してください。この記載は、様式4-1および様式4-2の「研究開発題目」にも記載してください。

様式3

2023 様式 ALCA-Next

「共同研究グループ1」に対応			

<研究開発体制の記載に関する注意点>

- ・ 原則としてJSTは研究開発題目ごとに研究開発代表者または主たる共同研究者の所属機関と委託研究契約を締結し、研究開発代表者と主たる共同研究者が研究開発費の配分を受けられます。
- ・ 研究開発費を執行する必要がある共同研究者は、主たる共同研究者として研究開発体制に加えてください。

2. 研究開発目標達成に向けた実施内容

(1) 研究開発実施内容の概要

※ステージゲート評価を見据えて、チーム全体としてどのようなスケジュールおよびマイルストーンを設定し研究開発を実施するか、ステージゲートを通じた場合どのように研究開発を加速するか、全体の構想がわかるように記載してください。

※以下について、判断できるように記載ください。

- ・ 様式2で記載した研究開発目標の実現に向け、適切なスケジュール・マイルストーンが設定されていること。
- ・ 社会・産業ニーズの把握および民間企業等の巻き込みなど、研究開発成果の展開を見据えた計画がなされていること。

(記載例)

【スモールフェーズ】

- ・○○の開発
～～の開発を行う。研究開始後○年後を目処に～～を検討完了し、△年後までに～～を確立する。
- ・□□の解析
～～の解析を行う。研究開始後○年後を目処に～～を確立し、△年後までに～～を企業等へ引き渡す。

【加速フェーズ】

- ・○○の向上
○○年度で確立した～～を基に○○の向上を行う。○年度を目処に～～の検討を完了し、△年後までに～～を達成する。

スケジュールやマイルストーン、研究成果の展開等について読み取れるように記載ください。

様式3

2023 様式 ALCA-Next

(2) 研究開発スケジュール

※具体的なスケジュールとマイルストーンについて、線表で示してください。

	スモールフェーズ				加速フェーズ		
	1年次 (2023.11～ 2024.3)	2年次 (2024.4～ 2025.3)	3年次 (2025.4～ 2026.3)	4年次 (2026.4～ 2027.3)	5年次 (2027.4～ 2028.3)	6年次 (2028.4～ 2029.3)	7年次 (2029.4～ 2030.3)
(1)○○の開発							
・△△原理の確認	→						
・□□□		→	→	→			
・△△の解析・評価			→	→	→		
・□□□						→	→
(2)○○の開発							
・○○○	→	→	→				
・□□□の試作			→	→			
・△△の試作					→	→	→

「(1)研究開発実施内容の概要」で記載したスケジュールについて、線表で示してください。

この記載は、様式4-1および様式4-2の「研究実施項目」にも記載してください。

必要に応じて、行を追加してください。

様式 4-1

2023 様式 ALCA-Next

(様式 4-1)

研究開発実施体制 1

(研究開発代表者グループの研究実施体制)

研究開発代表者グループ(〇〇グループ)

研究開発代表者氏名	研究開発機関名 ¹⁾	役職	エフォート ²⁾
〇〇 〇〇	〇〇大学 大学院〇〇研究科 〇〇専攻	教授	40%
研究開発参加者氏名 ^{3,4)}	所属(上記と同じ場合には省略)	役職	
〇〇 〇〇		教授	
〇〇 〇〇		准教授	
〇〇 〇〇		講師	

- 現在の所属機関と採択後研究開発を実施する機関が異なる場合には、研究開発を実施する機関を記載いただき、特記事項にて事情をお知らせください。
- エフォートには、研究者の年間の全仕事時間(研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む)のうち、当該研究開発の実施に必要となる時間の配分率(%)を記入ください。
- 研究開発グループの構成メンバーについては、その果たす役割等について十分ご検討ください。
- 研究開発参加者の行は、必要に応じて追加してください。提案時に氏名が確定していない研究員等の場合は、「研究員 〇名」といった記載でも結構です。
- 同じ研究開発題目を複数の組織で取り組む必要がある場合は、研究参加者として、異なる組織のメンバーを加えていただいても構いません。ただしその場合は、JSTと契約を締結する研究開発代表者の所属機関が研究開発費の管理を行えることが必須です。個別にJSTと契約して研究開発費を執行する必要がある場合は、別の共同研究グループとして記載してください。

○研究実施項目及び概要

※加括弧まで含めた内容を記載してください。

・研究開発題目

※様式 3.1.(2) 研究開発体制の表の記載と同一の研究開発題目名を記入してください。

・研究実施項目

※様式 3.2.(2) 研究開発のスケジュールに対応する研究項目名を記入してください。

・研究開発の目的および内容

※研究開発代表者グループが担当する研究開発の概要を簡潔に記入してください。

現在の所属機関と採択後研究開発を実施する機関が異なる場合には、研究開発を実施する機関を記載いただき、特記事項にて事情をお知らせください。

エフォートはe-Radの数値と一致しているか。

「研究開発参加者」と「主たる共同研究者」とは区別してください。

e-Radの「2.研究組織情報の登録」には、「研究開発参加者」の入力は不要です。

様式3-1の(2)研究開発体制の表の記載と同一の、研究開発題目名を記入してください。

様式3-2の(2) 研究開発のスケジュールに対応する、研究項目名を記入してください。

様式 4-1

2023 様式 ALCA-Next

・構想における当該グループの役割

※自らの研究開発構想を実現するために研究開発代表者グループが果たす役割等を記入してください。

○特記事項

※特別の任務等(研究科長等の管理職、学会長等)に仕事時間(エフォート)を要する場合には、その事情・理由を記入ください。

現在の所属機関と採択後研究開発を実施する機関が異なる場合には、こちらに事情をお知らせください。

様式 4-2

2023 様式 ALCA-Next

(様式 4-2)

研究開発実施体制 2

(共同研究グループの研究実施体制)

※研究開発代表者の所属機関内あるいは他の研究開発機関等に所属する共同研究グループが必要なグループごとに記載ください。JSTと委託研究契約を締結し、研究開発費の配分を行う予定の共同研究は全て記載ください。

※共同研究グループの数に上限はありませんが、研究開発代表者の研究開発構想の遂行に最適で必要十分なチームを編成してください。研究チームに共同研究グループを加えることは、必須ではありません。

※スモールフェーズ開始時点の共同研究グループ分を記載してください。

共同研究グループ(1) (〇〇グループ)

主たる共同研究者 氏名	共同研究機関名 ¹⁾	役職	エフォート ²⁾
〇〇 〇〇	〇〇研究所 〇〇部 〇〇チーム	チームリーダー	10%
研究者番号 ⁵⁾ : 12345678			
研究機関コード ⁶⁾ : 1234567890			
研究開発参加者 氏名 ^{3,4)}	所属(上記と同じ場合には省略)	役職	
〇〇 〇〇		主席研究員	
〇〇 〇〇		研究員	
2名雇用予定		特別研究員	

1)~4) 前ページをご参照ください。

5) 主たる共同研究者は、府省共通研究開発管理システム(e-Rad)へ研究者情報を登録した際に付与される8桁の研究者番号を記載ください。

6) 所属先の府省共通研究開発管理システム(e-Rad)所属研究機関コードを記載ください。

○研究実施項目及び概要

※加速フェーズまで含めた内容を記載してください。

・研究開発題目

※様式 3.1.2) 研究開発体制の表の記載と同一の研究開発題目名を記入してください。

・研究実施項目

※様式 3.2.(2) 研究開発のスケジュール」に対応する研究項目名を記入してください。

主たる共同研究者にも e-Rad番号の記載を求めます。未取得の場合は、採択時までe-Rad番号の取得が必要です。

エフォートはe-Radの数値と一致しているか。

様式3-1の(2)研究開発体制の表の記載と同一の、研究開発題目名を記入してください。

様式3-2の(2) 研究開発のスケジュールに対応する、研究項目名を記入してください。

様式 4-2

2023 様式 ALCA-Next

・研究開発の目的および内容

※本共同研究グループが担当する研究の概要を簡潔に記入してください。

・構想における当該グループの役割

※研究開発代表者の研究開発構想を実現するために本共同研究グループが必要不可欠であること、理由、位置づけ等を記入してください。

○特記事項

※特別の任務等(研究科長等の管理職、学会長等)に仕事時間(エフォート)を要する場合には、その事情・理由を記入ください。

※海外の研究開発機関を研究チームに加える場合は、以下について本項に記載ください。

- ・ 研究開発構想を実現する上での必要性
- ・ 海外研究機関でなければ研究実施が困難となる理由(設備・環境等)
(例:必要な設備が日本になく、海外の機関にのみ設置されている。海外でのみ実施可能なフィールド調査が必要である。研究材料がその研究機関あるいはその場所では入手できず、日本へ持ち運ぶことができない。)
- ・ 海外研究機関の契約担当局責任者の連絡先
- ・ 契約締結に至らなかった場合の当該グループとの連携案
- ・ JST が研究開発費を提供できない場合の連携案(次善策)について記載してください。
- ・ 安全保障貿易管理規程整備の状況

海外の研究機関が参加する場合は、必要性について明記してください。

様式 5

2023 様式 ALCA-Next

(様式 5)

研究開発予算計画(7年間全体)

※面接選考の対象となった際には、さらに詳細な研究開発予算計画を提出していただきます。
 ※研究開発費は、本プログラム全体の予算状況、プログラムオフィサーによる領域としてのマネジメント、課題評価の状況等に応じ、採択時や研究開発期間の途中に見直されることがあります。

単位は千円です。ご注意ください。

1. チーム全体の研究開発費計画(費目別)

(単位:千円)

	スモールフェーズ				加速フェーズ			合計 (千円)
	初年度 (2023.11~ 2024.3)	2年度 (2024.4~ 2025.3)	3年度 (2025.4~ 2026.3)	4年度 (2026.4~ 2027.3)	5年度 (2027.4~ 2028.3)	6年度 (2028.4~ 2029.3)	7年度 (2029.4~ 2030.3)	
設備備品費	10,000	6,000	5,000	5,000	20,000	10,000	0	56,000
消耗品費	5,000	3,000	3,000	3,000	8,000	10,000	10,000	42,000
旅費	1,000	1,000	2,000	2,000	4,000	4,000	4,000	18,000
人件費・謝金 (人件費を支出する 研究員の数)	3,500 (1)	14,000 (2)	14,000 (2)	14,000 (2)	42,000 (6)	42,000 (6)	42,000 (6)	171,500
その他	5,500	1,000	1,000	1,000	1,000	9,000	19,000	37,500
直接経費 計	25,000	25,000	25,000	25,000	75,000	75,000	75,000	325,000
間接経費	7,500	7,500	7,500	7,500	22,500	22,500	22,500	97,500
合計	32,500	32,500	32,500	32,500	97,500	97,500	97,500	422,500

※研究開発費の費目と、その用途は以下のとおりです。

- ・ 設備備品費: 設備や備品を購入するための経費
- ・ 消耗品費: 消耗品を購入するための経費
- ・ 旅費: 研究開発代表者や研究参加者の旅費
- ・ 人件費・謝金: 研究員・技術員・研究補助員、RA※等の人件費、謝金(※RA(リサーチアシスタント)については募集要項第4章「4.13 博士課程学生の処遇の改善」を参照)

人件費が研究開発費総額の50%を超える場合、消耗品費、旅費それぞれが研究開発費総額の30%を超える場合は、その理由を本項に記載してください。

○ 特記事項

※最適な費目毎の予算額・比率となるようご検討ください。

※人件費が研究開発費総額の50%を超える場合、消耗品費、旅費それぞれが研究開発費総額の30%を超える場合は、その理由を本項に記載ください。

様式 5

2. グループ別の研究開発費計画

※加速フェーズ以降に追加する想定のあるグループがある場合は、追加予定 G 分としてまとめて記載してください。

単位は千円です。ご注意ください。

(単位:千円)

	スモールフェーズ				加速フェーズ			合計 (千円)
	初年度 (2023.11～ 2024.3)	2年度 (2024.4～ 2025.3)	3年度 (2025.4～ 2026.3)	4年度 (2026.4～ 2027.3)	5年度 (2027.4～ 2028.3)	6年度 (2028.4～ 2029.3)	7年度 (2029.4～ 2030.3)	
〇〇グループ	20,000	20,000	20,000	20,000	40,000	40,000	40,000	200,000
△△グループ	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	21,000
□□グループ	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	14,000
追加予定 G 分	0	0	0	0	30,000	30,000	30,000	90,000
直接経費 計								
間接経費 計								
合計	25,000	25,000	25,000	25,000	75,000	75,000	75,000	325,000

○ 購入予定の主要設備(1件 5,000 千円以上)

※新たに導入する予定の研究設備・装置等について記載ください。

設備・装置名	概算価格 (千円)	設置する 研究機関名	導入年度	用途

○ 特記事項

※加速フェーズ以降に追加する想定のあるグループの予算計画について等、何か補足すべき事項があれば記載ください。

業績リスト・過去の実績

1. 提案者業績リスト

※本研究開発課題の提案に関連するこれまでの主要な論文・著書等の業績 20 件以内(研究開発代表者分、主たる共同研究者分合計で 20 件以内)を、現在から順に発表年次を過去に遡って記載ください。

※論文についての記載項目は以下の記入例のとおりとしてください。(著書の場合はこれに準じてください。)

※項目順は自由です。

※プレプリントは発表年の後に(プレプリント)と記入ください。

<研究開発代表者>

(記入例)

・著者(著者は全て記入ください。)、論文名、掲載誌、巻号、ページ、発表年

<主たる共同研究者1>

(記入例)

・著者(著者は全て記入ください。)、論文名、掲載誌、巻号、ページ、発表年

<主たる共同研究者2>

(記入例)

・著者(著者は全て記入ください。)、論文名、掲載誌、巻号、ページ、発表年

2. 競争的研究資金制度等において代表を務めた研究課題の事後評価

※研究開発代表者が代表を務めた終了課題のうち、事後評価結果が公開されている課題の一覧を以下の表に記入してください(過去 5 年以内に公開されたものに限ります。)

※該当するものがない場合は、表を削除したうえで「該当なし」と記入してください。

※ご自身以外の課題が多数掲載されている場合は、評価者が確認しやすいよう、ご自身の課題の掲載ページ番号を付記してください。

番号	制度名	研究課題名 (実施年度)	事後評価結果掲載 Web ページの URL
1			
2			

主要な論文・著書等の業績20件以内（研究開発代表者分、主たる共同研究者分合計で20件以内）を記載ください。

研究開発代表者が代表を務めた終了課題のうち、事後評価結果が公開されている課題の一覧（過去5年以内に公開されたものに限る）を記載ください。

様式 7

2023 様式 ALCA-Next

(様式 7)

他制度での助成等の有無

※研究開発代表者および主たる共同研究者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度やその他の共同研究費・研究助成等(民間財団・海外機関を含む)(*)について、研究課題ごとに、資金制度名もしくは研究費名、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォート・所属機関および役職を記入ください。募集要項「4.2 不合理な重複・過度の集中に対する措置」もご参照ください。

(*)応募に当たっては、「統合イノベーション戦略 2020」において「外国資金の受入について、その状況等の情報開示を研究資金申請時の要件」とすることとされたことを踏まえ、令和3年度公募より、「他制度での助成等の有無」の様式に海外からの研究資金についても記入することを明確にしています。国内外の競争的資金のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費等の研究資金も記載ください。

※記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

※現在申請中・申請予定の研究助成等について、この研究開発提案の選考中にその採否等が判断された場合は、本様式に記載の内容に変更が生じた際は、本様式を修正の上、この募集要項巻末に記載された問い合わせ先まで電子メールでご連絡ください。

※面接選考の対象となった場合には、他制度への申請書、計画書等の提出を求める場合があります。

当該研究課題を申請もしくは受給するにあたっての所属機関および役職を記載してください。

研究開発代表者: ○○ ○○

資金制度名 もしくは 研究費名(配分 機関名)	受給 状況	研究課題名 (代表者氏名)	研究 期間	役割 (代表/ 分担)	(1)本人受給研究費 (期間全体) (2)〃(2024年度予定) (3)〃(2023年度予定) (4)〃(2022年度実績)	2023 年度 エフォート (%)	所属 機関・ 役職
ALCA-Next(本提案)	申請	/	2023.11 — 2030.3	代表	(1) 300,000 千円 (2) 25,000 千円 (3) 25,000 千円 (4) -	40	
科学研究費補助 金 基盤研究(S) (JSPS)	受給	××による◇ ◇の創成 (○○○○)	2019.4 — 2024.3	代表	(1) 100,000 千円 (2) 50,000 千円 (3) 25,000 千円 (4) 5,000 千円	20	
共同研究費 (○○株式会社)	受給	××による◇ ◇の解析 (○○○○)	2021.10 — 2023.9	代表	(1) 20,000 千円 (2) 7,000 千円 (3) 8,000 千円 (4) 5,000 千円	10	
戦略的創造研究 推進事業 CREST (JST)	申請	××による◇ ◇の高機能 化 (○○○○)	2023.10 — 2029.3	分担	(1) 300,000 千円 (2) 94,000 千円 (3) 57,000 千円 (4) -	-	

・現在受給中または受給が決定している助成等について、本人受給研究費(期間全体)が多い順に記載ください。その後、申請中・申請予定の助成等を記載ください。

・助成等が、現在受給中または受給が決定している場合は「受給」、申請中または申請予定であれば「申請」と記入ください。

・「資金制度名」もしくは「研究費名」は、国内の競争的研究費以外の場合、資金を配分している機関名も記載

エフォートはe-Radの数値と一致しているか。

様式 7

2023 様式 ALCA-Next

- ださい。
- ・「役割」は、代表又は分担等を記載ください。
 - ・「本人受給研究費」は、ご本人が受給している金額(直接経費)を記載ください。
 - ・「エフォート」は、年間の全仕事時間(研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む)のうち、当該研究の実施に必要となる時間の配分率(%)を記載ください【総合科学技術・イノベーション会議における】。申請中・申請予定の助成等のエフォートは記載せず、ALCA-Next のみに採択されると想定受給中・受給予定の助成等のエフォートを記載ください。ALCA-Next のエフォートと、現在受け付けているエフォートを合計して 100%を超えないようにしてください。
 - ・当該研究課題を申請もしくは受給するにあたっての所属機関および役職を記載ください。
 - ・必要に応じて行を増減してください。

主たる共同研究者(1): △△ △△

資金制度名 もしくは 研究費名(配分 機関名)	受給 状況	研究課題名 (代表者氏名)	研究 期間	役割 (代表/ 分担)	(1)本人受給研究費 (期間全体) (2)＃(2024年度予定) (3)＃(2023年度予定) (4)＃(2022年度実績)	2023 年度 エフォート (%)	所属 機関・ 役職
ALCA-Next(本提 案)	申請	/	2023.11 - 2030.3	分担	(1) 300,000 千円 (2) 25,000 千円 (3) 25,000 千円 (4) -	20	
科学研究費補助 金 基盤研究(S) (JSPS)	受給	××による◇ ◇の創成 (○○○○)	2019.4 - 2024.3	代表	(1) 100,000 千円 (2) 50,000 千円 (3) 25,000 千円 (4) 5,000 千円	20	
共同研究費 (○○株式会社)	受給	××による◇ ◇の解析 (○○○○)	2021.10 - 2023.9	代表	(1) 20,000 千円 (2) 7,000 千円 (3) 8,000 千円 (4) 5,000 千円	10	
戦略的創造研究 推進事業 CREST (JST)	申請	××による◇ ◇の高機能 化 (○○○○)	2023.10 - 2029.3	分担	(1) 300,000 千円 (2) 94,000 千円 (3) 57,000 千円 (4) -	-	

当該研究課題を申請もしくは受給するにあたっての所属機関および役職を記載してください。

エフォートはe-Radの数値と一致しているか。

様式 8

2023 様式 ALCA-Next

(様式 8)

特記事項

※利害関係及び利益相反の定義は、募集要項第 2 章「2.8.3 利益相反マネジメントの実施」をご確認ください。

○ 研究開発代表者(PI)と評価者の利害関係の有無

・プログラムディレクター(PD)との利害関係: 有 無

理由(利害関係がある場合):

(記載例) **プロジェクト(20XX 年~20XX 年)にて PD と共同研究を実施しており、2.8.3.1)に定める利害関係者の要件のうち、c.に該当する。

・プログラムオフィサー(PO)との利害関係: 有 無

理由(利害関係がある場合):

(記載例) **プロジェクト(20XX 年~20XX 年)にて PO と共同研究を実施しており、2.8.3.1)に定める利害関係者の要件のうち、c.に該当する。

○ 研究開発代表者に関係する機関(研究開発代表者等の研究成果を基に設立した機関等)に所属する、主たる共同研究者の有無

研究開発代表者に関係する機関: 有 無

当該機関の名称(主たる共同研究者名): 株式会社〇〇(科学太郎)

理由(ある場合):

(記載例)研究開発代表者の研究成果を基に設立した機関であり、2.8.3.2)に定める要件のうち a.に該当する。

○ JST の出資先企業の研究グループ参画の有無

JST の出資先企業の参画: 有 無

当該機関の名称(研究開発代表者名): 株式会社〇〇(科学太郎)

当該機関の名称(主たる共同研究者名): 株式会社〇〇(科学太郎)

○ (該当者のみ)研究提案者のエフォートに関する特記事項

※研究提案者が特別の任務等(特定の学内・社内業務等)に仕事時間(エフォート)を要する事情などあれば記載してください。

○ その他特記事項

※選考に関わる者について懸念点等ある場合は具体的に記載して下さい。

※その他異動予定等

PD・POとの利害関係がある場合は、その内容を具体的に記載してください。

募集要項「2.8.3利益相反マネジメントの実施」の「3)JSTの利益相反マネジメント」を参照の上、JSTの出資先企業の研究グループ参画の有無について、記載下さい。

選考に関わる懸念点等や、異動予定等がある場合は、こちらに記載してください。